



日本と中国の高校生140名が中国で再会 「日本 中国 ティーンエイジ アンバサダー事業」を実施



— 日中平和友好条約締結40周年記念事業 —

公益財団法人イオンワンパーセントクラブは、10月15日（月）から、中華人民共和国（以下、中国）の高校生と日本の高校生140名が7日間の交流活動を通じて親交を深める「日本 中国 ティーンエイジ アンバサダー（高校生交流）事業」を中国で実施します。

このたびの交流では、本年7月の「日本 中国 ティーンエイジ アンバサダー事業」日本招聘プログラムに参加した、東京都、茨城県、北海道の70名、中国の北京市、武漢市、青島市の70名、計140名の高校生が中国で再会し、「ティーンエイジ アンバサダー」として、中国外交部、及び北京市人民政府の表敬訪問などを行います。また、伝統文化の進化をテーマに、中国の折り紙体験や同国の伝統的な住宅様式「四合院」※¹再生に取り組む日本人建築家のレクチャーを受ける他、北京市、武漢市、青島市の3エリアに分かれ、各地での歴史・文化体験や授業体験、ホームステイを通じて親交を深めます。

当財団は、柱となる3事業※²のひとつに「諸外国との友好親善の促進」を掲げ、1990年より、アジアを中心とした国々と日本の高校生が互いの国を訪問し、交流する「ティーンエイジ アンバサダー事業」を行っており、これまでに18カ国の高校生、累計2,632名が参加しています。なかでも日中両国の高校生の交流は、2009年に実施した北京市での事業が、中国政府ならびに両国の参加者から高い評価を受けたことから、以降、毎年開催しており、参加者はのべ1,204名にのぼります。

なお、本年10周年を迎えた「日本 中国 ティーンエイジ アンバサダー事業」は、両国の青少年の交流を促進するものとして、外務省より「日中平和友好条約締結40周年記念事業」に認定されています。

当財団はこれからも、日本と中国の未来を担う若者に相互理解を深める機会の提供を通じ、両国の友好親善の促進に資する活動を続けてまいります。

【7月に日本で行われた「日本 中国 ティーンエイジ アンバサダー事業」の様子】



首相官邸を表敬訪問



日本の高校生とともに学校給食を体験する中国の高校生

※1：四合院：中国の伝統的な住宅の形式。中庭をとり囲み、北に主屋、東・西にそれぞれ脇部屋、南に向い部屋を配するのが基本型とされる。

※2：3事業：「次代を担う青少年の健全な育成」「諸外国との友好親善の促進」「地域社会の持続的発展」

【プログラム概要】

1. 期 間：10月15日（月）～22日（月）
2. 参 加 者：日本（東京都、茨城県、北海道）の高校生 計70名
中国（北京市、武漢市、青島市）の高校生 計70名
3. 実施地域：北京市、武漢市、青島市
4. 交流ペア：
 - ① 東京都 筑波大学附属高等学校（10名）
東京都 順天高等学校（10名）
茨城県 東洋大学附属牛久高等学校（10名） ⇔北京市（30名）
 - ② 北海道 立命館慶祥高等学校（20名） ⇔武漢市（20名）
 - ③ 北海道 札幌日本大学高等学校（20名） ⇔青島市（20名）
5. 行動予定：
 - 10月15日（月）オリエンテーション、折り紙体験
 - 10月16日（火）万里の長城見学、太極拳体験
 - 10月17日（水）北京市人民政府表敬訪問、中国外交部表敬訪問、四合院視察
在中国日本国大使館での歓迎会
 - 10月18日（木）※以降、エリアごとに分かれて交流
 - ①（東京・茨城組） 北京外国語大学訪問
 - ②（北海道組） 武漢市人民政府表敬訪問、武漢大学訪問
 - ③（北海道組） 青島市人民政府表敬訪問、中国海洋大学訪問
 - 10月19日（金）
 - ①（東京・茨城組） 授業体験、ホームステイ
 - ②（北海道組） 授業体験、ホームステイ
 - ③（北海道組） 授業体験、ホームステイ
 - 10月20日（土）
 - ①（東京・茨城組） ホームステイ
 - ②（北海道組） ホームステイ
 - ③（北海道組） ホームステイ
 - 10月21日（日）ホームステイ、フェアウェルパーティー
 - 10月22日（月）帰国

ご参考 日本 中国 ティーンエイジ アンバサダー（日中小大使）事業一覧

	開催年度	日本側参加校	訪問都市	参加人数
第1回	2009年	東京都／筑波大学附属高等学校	北京市	59名
第2回	2010年	東京都／筑波大学付属高等学校 東京都／東京学芸大学附属高等学校	北京市	81名
第3回	2011年	東京都／筑波大学付属高等学校 東京都／東京学芸大学附属高等学校	北京市	80名
第4回	2012年	東京都／筑波大学付属高等学校 東京都／東京学芸大学附属高等学校 東京都／東京都立西高等学校 東京都／お茶の水女子大学附属高等学校	北京市 天津市 青島市	200名
第5回	2013年	東京都／筑波大学付属高等学校 東京都／東京学芸大学附属高等学校 大阪府／大阪教育大学附属高等学校池田校舎 兵庫県／兵庫県立姫路西高等学校	北京市 武漢市 蘇州市	120名
第6回	2014年	東京都／筑波大学付属高等学校 東京都／東京学芸大学附属高等学校 千葉県／千葉市立千葉高等学校	北京市 武漢市 蘇州市	120名
第7回	2015年	東京都／筑波大学付属高等学校 東京都／東京学芸大学附属高等学校 千葉県／千葉市立千葉高等学校	北京市 武漢市 蘇州市	120名
第8回	2016年	東京都／筑波大学付属高等学校 千葉県／千葉市立千葉高等学校 北海道／札幌日本大学高等学校 大分県／岩田高等学校	北京市 武漢市 青島市	143名
第9回	2017年	東京都／筑波大学付属高等学校 東京都／学芸大学附属高等学校 北海道／札幌日本大学高等学校 大分県／岩田高等学校	北京市 武漢市 青島市	141名
第10回	2018年	東京都／筑波大学附属高等学校 東京都／順天高等学校 茨城県／東洋大学附属牛久高等学校 北海道／立命館慶祥高等学校 北海道／札幌日本大学高等学校	北京市 武漢市 青島市	140名